

## 桐蔭学園中等教育学校

中学入試

住所 〒225-8502 神奈川県横浜市青葉区鉄町1614

電話 045-971-1411

FAX 045-974-0287

URL <http://toin.ac.jp/ses/>

帰国生受け入れ開始年度

2019年度帰国生在籍数 中等(前)1年:21人 2年:14人 3年:23人 中等(後)1年:19人 高校2年:21人 高校3年:27人

帰国生のための部署/担当 グローバル教育センター/入試広報部主任 山本英門先生(koho@toin.ac.jp)

帰国生入試について				
出願資格・条件	次の(1)~(3)のすべてを充たしていること。(1)2007年4月2日~2008年4月1日に出生 (2)2015年4月以降に帰国 (3)海外在留期間が1年以上の児童			
出願書類	志願票(インターネット出願手続き時に印刷) 志望理由書(本校ホームページより印刷した用紙に記入) 資格等の写し(任意)(英検など)			
過去3カ年の応募状況		出願者数	受験者数	合格者数
	2019年	男女71	男女62	男女34
	2018年		(2019年より共学化)	
	2017年			
帰国生の編入試験について				
出願資格・条件	保護者の海外在留に伴って外国で教育を受けたもので、滞在期間が1年以上あるもの。帰国直後に限ります。(いったん他校へ編入した場合は資格がありません。) 国語・数学・英語(各科目とも50分)の筆記試験を行います。筆記試験合格者に対して面接試験を実施します。面接は必ず保護者同伴のこと。			
出願書類	1.海外における学校の在学証明書 2.海外における学校の成績証明書(日本人学校の場合は調査書) 3.編入学 志願票(本校より交付 PDFあり) 4.編入学 履歴データ(本校より交付 PDFあり) 5.編入学 学習・言語状況(本校より交付 PDFあり) 6.海外在留証明書(本校より交付 PDFあり) 7.受験料 25,000円			
実施時期	中等教育1・3年			
帰国生に対する配慮				
帰国生に対する入学後のクラス配置・授業体制は、ホームルーム(所属クラス)・授業クラス(英語以外)ともに、一般生と帰国生が混合になります。授業は、英語と数学においては習熟度別授業を行っているため、自分のレベルに合ったクラスで授業を受けることができます。習熟度別授業は、定期考査の成績によって教科別にクラスのメンバーが入れ替わります。日常の学習については、国内の一流大学に進学するための教育プログラムが組まれており、各教科の学力を高めることができます。学習の場以外では、アフタースクール(放課後の様々な活動の総称)において部活動や委員会活動が盛んですので、多くの友人とのつながりを得ることができます。また、多くの外国人講師がいるため、校内においても英語を使う機会に恵まれています。校舎内の「グローバルラウンジ」や学園内の「桐蔭英語村」はネイティブ講師が常駐し、英語を楽しく使える空間として大変人気です。				
外国語・日本語の指導、取り出しや補習など				
帰国生に対する英語の授業は一般生(国内生)と異なり、2年次までは帰国生クラスを編成します。英語の授業数は基本的に週6時間で一般生と同じですが、3年次以降は、前項のとおり、一般生とともに習熟度別授業で、自分のレベルに合ったクラスで授業を受けるようになります。アフタースクールでは、英語力アップのプログラムを用意する予定です。ネイティブ教員が運営する「グローバルラウンジ」も大いに活用してほしいと思います。英語に関しては、海外で身につけた運用力を維持するために、聞いたり話したりする機会をできるだけ多く設けるようにしています。また、帰国生は感覚的に意味が取れても正確さに欠けていたり、文法面が弱いなどの問題が見受けられることがあります。きちんとした文法に基づいた作文力や読解力を向上させていくよう気を配っています。				
入試に向けての事前準備や意識しておいてほしいこと				
英語に関しては、英検2級を取得することを勧めます。入学する段階で英検2級をもっている生徒が相当数います。受験準備としては、準2級レベルの英語の問題を解ける英語力が必要です。また、100語程度の自由英作文も例年出題されているので、作文練習をすることを勧めます。				
帰国生の卒業後の進路・進学状況について				
2018年度卒業の帰国生の主な進学先は、国立大は北海道大・筑波大・横浜国立大など各1名、私立大は早大2名・慶大5名・東京理科大1名・上智大1名・立命館大1名などです。				
留学制度や海外大学進学支援体制について				
ニュージーランドの中学・米国の高校に留学するプログラムや、3年次にはフィリピンのクラークでの短期語学研修(全員参加)があることが魅力です。				
帰国生や海外在住生徒保護者へのメッセージ				
帰国生には、海外で英語だけでなく、在住する国の文化・習慣をできるだけ多く学んできてほしいと思います。今自分がいる環境でしか感じることができないことをたくさん吸収してきてください。また、これからのグローバル時代は英語によるコミュニケーション能力がますます大切になります。海外生活で身につけた語学力を駆使して、将来国際的に活躍していくことを目指してください。また同時に、日本語・日本文化への理解を深めていくことも重要です。				